

学習指導改善調査 実践モニター 実施計画書

私のプロフィール		
氏名	藤 <small>ふじ</small> 田 <small>た</small> 剛 <small>つよし</small>	
勤務先	十日町市立十日町小学校	
○ 実践教科 算 数		

★取組の方向

私の教育理念	<p>勤務校の研究にかかわり、算数を中心に研究してきました。中でも「数と計算」領域について実践を重ねてきています。</p> <p>単に計算の仕方を覚え、処理できるようになるというよりも、<u>計算の意味を知り</u>、それを理解した上での処理ができるようになることが重要であると考えます。その上で、自分の考えを明確な根拠を示しながら分かりやすく伝え、他者の考えと比較し、考えを深めていけるようになってほしいのです。このことは、当校の研究主題「ゆとりの中で子どもが生き生きと学ぶ教育課程の創造～思考・判断力、表現力の伸長を図る指導・評価～」とも合致します。以下の「目指す子ども像」を設定して実践していきます。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">既習事項を活用して自ら考え、友達と意見交流しながら考えを深め、分かりやすくかいたり、話したりしながら問題解決方法を導き出す児童</p>
学級の実態	<p>6学年2学級の児童（男子11名、女子21名）を、両学級とも昨年からもち上がりで担任しています。チームワークがよく、「～なのは、どうしてだろう。」というような課題を追求することを好む児童です。その中で、相互に学び合い、力を高め合えるような雰囲気作りに努めてきました。反面、学習場面でリーダー的な児童に依存してしまい、自分自身の力で考えることなかなかできない児童が見られます。また、特に算数科の学習においては個人差が非常に大きく、授業の構成や形態に工夫が必要です。学習指導改善調査の結果からは、「筋道立てた分かりやすい説明」について、あまり定着していない現状にあります。</p>
今後の指導の方向	<p>○学習指導改善の視点として、以下のことを実践のポイントとしていきます。</p> <p>①線分図などを活用して、問題解決の見通しを立てたり、解決過程や考え方を分かりやすく説明したりする学習活動を多く取り入れます。</p> <p>②小数と整数を関連付けながら十進位取り記数法の原理やきまりをもとに、計算の意味やしくみを考えて判断し、説明する学習活動を取り入れます。</p> <p>③形式的な計算方法の指導だけでなく、「単位に着目する考え」「割合の考え」「数の相対的な大きさをとらえる見方」「小数と整数を同じとみる力」などに着目した指導をより重視していきます。</p> <p>④根拠や前提をもとに操作の内容や事象のしくみを筋道立てて説明する算数的活動を多く取り入れます。</p> <p>⑤「もし、～ならば」という発想から図形の動的な見方をきたえる学習活動を展開します。（図形の構成要素や図形そのものを変形させる）</p> <p>⑥問題解決の過程を言葉で書いたり、発表したりする学習経験を十分に保証していきます。（「つなぎ言葉」を大切に、表現力のアップ。）</p>